



平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月6日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務 (氏名) 高橋 一夫
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	12,392	2.1	3,158	2.7	3,432	8.3	2,457	6.8
28年8月期第3四半期	12,132	28.0	3,244	0.4	3,170	5.5	2,299	5.1

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 3,507百万円 (131.5%) 28年8月期第3四半期 1,515百万円 (58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	74.89	
28年8月期第3四半期	69.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	32,769	29,238	89.2
28年8月期	29,922	26,781	89.5

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 29,238百万円 28年8月期 26,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		15.00		15.00	30.00
29年8月期		17.00			
29年8月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,560	0.0	4,602	8.4	4,525	11.6	3,379	12.4	103.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期3Q	35,637,000 株	28年8月期	35,637,000 株
期末自己株式数	29年8月期3Q	2,827,880 株	28年8月期	2,827,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期3Q	32,809,120 株	28年8月期3Q	33,059,484 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医療機器業界は、先進国では医療費抑制政策や承認基準の厳格化等厳しい状況が続いているものの、先進医療の導入が進み、新興国では人口の増加及び経済発展に伴う医療インフラの整備が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。

一方で、英国のEU離脱決定に端を発した不透明な欧州の経済動向、米国の今後の経済・金融政策等により、世界情勢は予断を許さない状況にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、中国の販売拠点 馬尼(北京)貿易有限公司 及びベトナムの販売拠点 MANI MEDICAL HANOI CO., LTD. を中心に現地マーケティングの強化を図り、ユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めた結果、デンタル関連製品の中国売上を大きく増加させることができました。さらに、成長著しいインド市場での売上拡大を目指して、新たに販売拠点 MANI MEDICAL INDIA PRIVATE LIMITED を設立しました。ドイツの子会社 Schütz Dental GmbH及びGDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの2社(以下、「SDG」という。)においては、円高の影響に加え、インプラントの売上が低調に推移しましたが、欧州販売拠点化に向けて積極的な活動を行うとともに、当社との共同製品開発を推進するための体制整備を行いました。

海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点 MANI HANOI CO., LTD. は、生産工程移管の推進とともに、品質向上とコスト低減を実現するため、生産効率の改善及び顧客への直接出荷体制の確立に努めてまいりました。さらに、将来的な受注増加に対応すべく新工場の建設が完了し、稼働に向けた準備を進めました。また、ミャンマーの生産拠点 MANI YANGON LTD. 及びラオスの生産拠点 MANI VIENTIANE SOLE. CO., LTD. は、運営の安定化を推進してまいりました。

開発面については、引き続き「世界一の品質」を実現・維持するための生産技術開発・既存製品改良研究を海外拠点と連携して行うとともに、先進国での売上拡大を目指して新製品開発を進めております。また、当第3四半期連結累計期間中の新製品として、「リフトアップ針」(アイレス針関連製品)を発売しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,392百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は3,158百万円(同2.7%減)、経常利益は為替差益の増加により3,432百万円(同8.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,457百万円(同6.8%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

前連結会計年度に引き続き、ロシアへの売上が低調に推移したものの、品質評価の高い眼科ナイフの売上が好調に推移したことから、売上高は3,111百万円(前年同期比6.5%増)となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は898百万円(同3.1%増)となりました。

(アイレス針関連製品)

顧客在庫調整の影響があったものの、北米への売上が好調に推移したことから、売上高は3,230百万円(前年同期比1.4%増)となりました。また、売上高は増加したものの、ベトナム新工場への生産工程移管準備により一時的に原価が増加したこと、販管費が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は1,259百万円(同4.6%減)となりました。

(デンタル関連製品)

SDGの売上が低調に推移したものの、ダイヤモンドの中国売上が好調に推移したことから、売上高は6,050百万円(前年同期比0.4%増)となりました。また、売上高は増加したものの、利益率の低い製品の売上割合が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は1,001百万円(同4.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,847百万円増加し、32,769百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加ならびに、海外生産子会社の生産増強等に伴い、建設仮勘定が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、3,530百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用、前受金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,457百万円増加し、29,238百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月7日の「平成28年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,764,718	6,540,349
受取手形及び売掛金	2,480,875	2,088,799
有価証券	41,126	—
商品及び製品	1,808,814	1,832,875
仕掛品	2,135,310	2,470,008
原材料及び貯蔵品	1,277,772	1,525,809
繰延税金資産	257,289	212,611
その他	518,415	416,793
貸倒引当金	△31,549	△28,448
流動資産合計	14,252,773	15,058,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153,748	3,268,235
機械装置及び運搬具(純額)	3,704,076	3,580,383
土地	1,146,656	1,146,656
その他(純額)	1,226,353	2,971,033
有形固定資産合計	9,230,834	10,966,308
無形固定資産		
のれん	1,196,876	1,090,088
ソフトウェア	27,497	36,948
その他	381,166	417,851
無形固定資産合計	1,605,541	1,544,889
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,730	4,903,745
繰延税金資産	11,244	4,347
保険積立金	276,670	282,988
その他	8,973	8,849
貸倒引当金	△510	—
投資その他の資産合計	4,833,108	5,199,931
固定資産合計	15,669,485	17,711,128
資産合計	29,922,258	32,769,927

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	318,969	275,633
未払金	578,290	415,730
未払法人税等	404,826	466,707
賞与引当金	388,866	279,677
その他	416,206	905,633
流動負債合計	2,107,159	2,343,383
固定負債		
繰延税金負債	473,632	624,616
役員退職慰労引当金	93,640	103,470
退職給付に係る負債	447,439	437,887
その他	18,900	21,600
固定負債合計	1,033,611	1,187,574
負債合計	3,140,770	3,530,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	26,765,837	28,172,952
自己株式	△3,124,135	△3,124,135
株主資本合計	25,666,745	27,073,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,469,514	1,768,260
為替換算調整勘定	△230,974	508,175
退職給付に係る調整累計額	△123,797	△111,326
その他の包括利益累計額合計	1,114,742	2,165,109
純資産合計	26,781,488	29,238,970
負債純資産合計	29,922,258	32,769,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	12,132,868	12,392,771
売上原価	4,873,173	5,151,411
売上総利益	7,259,695	7,241,360
販売費及び一般管理費	4,014,927	4,082,661
営業利益	3,244,768	3,158,698
営業外収益		
受取利息	12,567	12,093
受取配当金	32,116	38,258
投資事業組合運用益	1,174	7,206
為替差益	—	176,406
その他	40,887	43,501
営業外収益合計	86,745	277,466
営業外費用		
支払利息	110	110
投資事業組合運用損	1,492	—
為替差損	150,837	—
その他	8,165	3,267
営業外費用合計	160,605	3,378
経常利益	3,170,908	3,432,786
特別利益		
固定資産売却益	1,749	—
投資有価証券売却益	—	23,007
特別利益合計	1,749	23,007
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	15,507	9,119
特別損失合計	15,528	9,119
税金等調整前四半期純利益	3,157,129	3,446,673
法人税、住民税及び事業税	743,099	922,840
法人税等調整額	114,439	66,825
法人税等合計	857,539	989,665
四半期純利益	2,299,590	2,457,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,299,590	2,457,007

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	2,299,590	2,457,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,358	298,745
為替換算調整勘定	△836,904	739,149
退職給付に係る調整額	2,028	12,471
その他の包括利益合計	△784,517	1,050,366
四半期包括利益	1,515,072	3,507,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,515,072	3,507,374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,920,984	3,184,314	6,027,570	12,132,868	-	12,132,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	58,238	-	58,238	△58,238	-
計	2,920,984	3,242,552	6,027,570	12,191,107	△58,238	12,132,868
セグメント利益	870,828	1,320,394	1,053,545	3,244,768	-	3,244,768

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,111,927	3,230,331	6,050,513	12,392,771	-	12,392,771
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	160,439	-	160,439	△160,439	-
計	3,111,927	3,390,771	6,050,513	12,553,211	△160,439	12,392,771
セグメント利益	898,166	1,259,110	1,001,421	3,158,698	-	3,158,698

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。